

私達は、組合員の皆様に「JA大潟村」が実施している取り組みや、今後の課題について、もっと知っていただきたいと考えており、その内容についてお繋ぎさせていただきます。

《JA大潟村の自己改革具体的取り組み》



1. 農業者の所得増大および農業生産の拡大

自己改革の3つの基本目標（「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」）の実現に向け、「各JAが自らの創意工夫に基づく積極的かつ多彩な事業と組織活動を展開し、地域の農業と暮らしになくてはならない組織となること」をめざす「創造的自己改革」に挑戦することとしました。

JAグループの自己改革の成果と課題をふまえるとともに、農業・地域社会・JAを取り巻く3つの危機（「農業・農村の危機」「組織・事業・経営の危機」「協同組合の危機」）をチャンスとして捉え、自己改革の3つの基本目標へのさらなる挑戦と、それを支える持続可能な経営基盤の確立・強化を重点課題として、集中的に取り組むこととしております。

さらに、農協改革の中では中央会組織が連合会へ組織移行を控えており、移行後においても「代表機能」「総合調整機能」「経営相談機能」を発揮していくこととしております。

2月末には、たまねぎ乾燥・貯蔵・調整施設が完成し、100ha規模のたまねぎ受入体制が整いました。農家の注目度も上がっており、大潟村版のたまねぎ栽培体制確立を目指しており、安定的な収量確保のため、県、県立大学と情報を共有しながら、農家所得向上に向け努力してまいります。

2. 地域・社会への貢献

1 指導・販売事業

< 営農支援課 >

(1) 高収益作物の生産振興

たまねぎの産地化に向けた栽培技術と一貫した機械化の確立、水稻育苗後のハウス利用を推進し農地の有効利用と所得向上、園芸団地の有効利用に向け取り組む。

(2) 試験研究事業への取組

販売優位性と所得増大に向けた水稻の多収品種及び良食味品種の調査・研究、農業経営の安定に資する水稻の安定多収確保に向けた栽培管理技術の確立、水稻「苗細菌病」の調査と防除対策の検証、種子事業に係る調査に取り組む。

(3) 安全・安心農産物の生産振興

GAP (GLOBAL-GAP、ASIA-GAP) の普及・推進と取得による販売優位性の確立、農産物の残留農薬調査の実施に取り組む。

(4) 営農支援体制の充実

農業雇用労働力供給システムの構築、スマート農業を実践し「農業の見える化」と「技術の継承」を推進、専門技術習得のために情報交流の場への積極的参加、生産現場でのきめ細かな対応を図る。

(5) 後継者の農業技術向上への取組

試験圃場を活用した栽培の実証、栽培講習会を定期的で開催する。

<生活課・生活指導>

(1) 高齢者福祉対策

JA健康寿命100歳プロジェクト活動の推進を図る。運動(グラウンド・ゴルフ大会の開催)・食事(健康料理教室等の開催)健康介護医療(認知症サポーター養成研修等の開催)・ゆとりいきがい(地域の茶の間等の開催)

(2) 健康管理対策

総合健診・人間ドックの推進、体力づくり・健康づくり活動の推進(村ウォーキング大会等への協力)を図る。

(3) 組織活動の強化

女性部とフレッシュミズとの交流(スポーツ大会等の開催)、各種研修・学習会の開催(女性部、フレッシュミズ合同研修会等)、自家加工講習会(豆腐づくり講習会等)を開催する。

2 信用・共済事業

<金融課>

(1) JAバンク中期戦略に基づく事業展開

年金口座・JAカード・ネットバンキングの推進による個人貯金の増強、「年金受給者定期・まごころ感謝定期」の重点推進、年金受給口座獲得に向けての年金相談会を実施する。

(2) 利用者基盤の拡充・再構築

商品訴求力等の向上に向けた取り組み、金融機能不正利用防止(反社会的勢力・振り込み詐欺・偽造・盗難キャッシュカード等)への適切な対応を実施する。

(3) 人材育成の取組

統一事務手続に基づく迅速かつ正確な事務処理の遂行、集合研修・通信教育・各種検定試験等を活用した人材育成を実施する。

<経営課>

(1) 農業経営の改善・支援に係る充実強化

農業 営農支援課との連携強化による経営支援農業者の経営改善、総合口座・営農貸付口座の限度超過・固定化の対応、政策に即した営農支援、総合口座等の再構築に伴う体制整備および対応、e-tax推進による納税環境の整備に取り組む。

(2) 農業関係資金の対応力強化

組合員、地域利用者の資金ニーズの的確な把握とニーズに即した適切な資金提供、農業金融に関する情報提供に努める。

(3) 相続相談に向けた対応

税理士等との連携による相続相談者への情報提供に努める。

<審査課>

(1) 審査体制の充実

法令等に則した貸出業務の検証、貸出実行後の管理、回収等に関する検証態勢を構築する。

(2) 内部牽制機能の強化

貸出金等の資産自己査定の検証態勢を構築する。

(3) 広報活動の充実

JAだよりの紙面の充実、ホームページ等を活用した組合員への情報提供の充実に努める。

販 売

販売高及び収益

(単位:円、%)

区 分	平成30年度実績	中期経営計画	令和元年度計画	前年対比	摘 要
野 菜	59,036,563	131,840,000	131,840,000	223.3	かぼちや、たまねぎ、にんにく他
果 菜	11,375,100	11,450,000	11,450,000	100.6	アムスメロン
花 き	30,586,025	28,200,000	28,200,000	92.1	トルコギキョウ・チューリップ他
業 務 用 野 菜	721,440	772,000	772,000	107.0	キャベツ他
畜 産 物	2,136,849	-	-	-	
そ の 他	-	-	-	-	
計	103,855,977	172,262,000	172,262,000	165.8	
米 検 査 手 数 料	12,423,197	13,070,000	13,070,000	105.2	
米 入 出 庫 料	2,062,820	1,830,000	1,830,000	88.7	
予 冷 庫 利 用 料	289,997	197,000	197,000	67.9	
施 設 利 用 料 等	-	20,531,000	20,531,000	-	
雑 収 入	1,937,331	454,000	454,000	23.4	たまねぎ乾燥調整料他
計	16,713,345	36,082,000	36,082,000	215.8	

H28～H30年度の販売額

(千円)

品目	H28	H29	H30
メロン	19,334	17,899	11,375
かぼちや	41,813	38,455	43,545
トルコギキョウ	13,116	12,679	17,945

